

特定非営利活動法人「防災のことは研究会」

「伝える」から「伝わる」へ

★10月13日（木）関東地区 第3回研究発表会（講演会）

★12月3日（土）関東地区 研究発表大会

特別企画「2020東京オリンピック・パラリンピックの防災
—多言語での避難情報発信—(仮題)」



今年は夏からたくさんの台風が日本に上陸し、集中豪雨で多くの犠牲者が出ました。北海道の老人施設では、「避難準備情報」が出ていたのに、その意味がわからず災害弱者を避難させられませんでした。この問題は、やはり情報を出す側が受け取る側のコンテクスト（文脈）を考慮せず発信したことが原因でしょう。東日本大震災からもう5年半になるのに、未だに日本各地でこのようなことばの問題で自然災害による人的被害が出ています。私たちは、今一度この研究会の設立趣旨を思い出し、災害情報をいかに表現し、どのように伝えれば効果的かについてさらに研究を深め、それを現場に生かして行けるよう働きかけたいと思います。

理事長 新井恭子



【お知らせ】平成28年度第4回 関東地区 講演会（会議）

日時：10月13日（木）18:00～20:00

会場：東洋大学白山キャンパス8号館1F 地域連携推進室・研修室

第1部 講演会 18:00～19:30

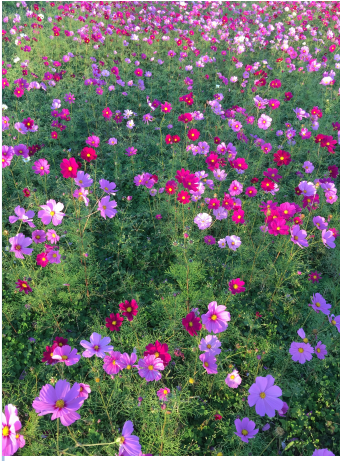
「首都直下型地震と首都機能」
—大地震と東京23区—
行政の課題と認識・行政組織の対応
講師：関賢二（せきけんじ）先生

プロフィール：

福島県会津若松出身。自治省（現総務省）勤務から千葉県総務部へ出向を経て、地方自治に貢献するため、文京区企画部広報課長に就任。文京区収入役、助役、副区長を歴任。現在は、東洋大学参与・学識評議員、東洋大学哲理塾塾長。専門は地方自治法、行政法、地方財政法、地域コミュニティ政策形成、組織管理、危機管理など、多くの大学・企業・研修所で講義を担当。

※今回の講義は、なかなか一般市民が知る事ができない「自然災害に関する行政の危機管理」についてお話させていただきます。また、関先生には、下半期より、「防災のことは研究会」の顧問・相談役をお引き受けいただきました。





※会員でない方の参加も歓迎します。

参加費用

会員：無料

非会員：1,000円 学生：500円

懇親会

研究会終了後、会場近くで懇親会を予定しております。当日参加希望者を募ります。

第2部 会議19:30~20:00

12月3日(土)開催の研究発表大会
特別企画「2020東京オリンピック・パラリンピックの防災—多言語での避難情報発信—(仮題)」についての企画会議

※会員の言語学研究者が避難情報伝達文を英語、フランス語、ドイツ語、中国語で翻訳。伝達文の各国独特の言い回しや、それぞれの国の避難行動について合同で、研究発表(シンポジウム形式)を行う予定です。

お願い：

12月の研究発表大会は、「防災のことは研究会」発足後、最大のイベントとして、土曜の午後4時間ほどを使って開催します。(場所は未定)より多くの参加者が集まる一般向けのイベントにしたいと考えております。左記の研究発表の他、東京オリンピック・パラリンピック開催時の防災について、会員の皆様より、研究発表や企画アイデアを募集いたします。よろしくお願い致します

入会案内

入会条件は特にありません。
災害の時の情報の伝達について、
問題意識のある方なら、どなたでも入会頂けます。

【会員の特典】

- 1 研究会、シンポジウム等のイベント参加費無料(研究発表の権利)
- 2 情報交換のためのメーリングリストに登録。
- 3 研究会の出版物、論文集の無料配布(投稿の権利)

※詳しくはホームページをご覧ください。

連絡先

特定非営利活動法人

「防災のことは研究会」

理事長 新井恭子

※事務局は埼玉県飯能市に移転、登記が終了しました。今後も、連絡は下記のメールでお願い致します。

メール：

arai-k@bousainokotoba.com

ホームページ：

<http://www.bousainokotoba.info>

災害情報アンケートにご協力をお願いします！

この研究会では、聞き手の立場に立った災害情報伝達とは何かを研究しています。災害に遭われた方々のご意見をお聞きしております。災害の大きさは問いません。災害情報(避難勧告、津波警報、大雨注意報など)についての意見をお聞かせ下さい。ホームページの「災害情報アンケート」をクリックしますと、入力できます。皆様のご意見は、私たち会員の研究に役立て、気象庁、地方自治体、テレビ局、など情報を発信する人たちに伝えます。